



最近の山梨県の経済情勢


令和 8 年 4 月 22 日

財務省関東財務局

甲府財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」








項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	7年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	7年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐりる動向などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額は前年を上回っている。乗用車の新車登録届出数は前年を下回っている。観光・宿泊は回復の動きに一服感がみられる。これらのことから、個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 味付け魚などの簡便調理商品の販売が好調で、全体として堅調に推移。焼くだけで食べられるといった調理の手軽さを求める消費行動の高まりが背景にある。(百貨店・スーパー)
- 菓子類の PB 商品・新商品を中心に堅調であるとともに、キャラクター・エンタメを題材とした玩具菓子は好調に推移している。(コンビニエンスストア)
- インフルエンザの流行で医薬品関連商品の売上げが好調であった。また、花粉症対策商品の売上げも好調であった。(ドラッグストア)
- 家庭用エアコンの省エネ基準が厳格化され価格上昇が懸念される 2027 年問題の影響による駆け込み需要で、エアコンの売行きが好調である。(家電量販店)
- 需要に対して供給が追いつかない車種は受注を見合わせている状況が継続しており、売上高は減少している。(自動車販売)
- 以前は来客が少なかった東南アジアや欧米からの客数が伸長している一方、中国人客は減少している。(宿泊)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

生産用機械、汎用・業務用機械などは増加しており、生産活動は全体として緩やかに持ち直しつつある。

- AI サーバー関連の製品について、取引先から納期の前倒し依頼が増えており、徐々に生産量が増加してきている。特に中国、台湾向けの生産が増加している。(生産用機械)
- 米国の自動車(ガソリン車、HV)及びAI データセンター関連向け、中国のAI データセンター及びEV 関連等向けが好調であり、生産量は増加している。(生産用機械)
- 当社製品は国内市場シェアが高いため国内需要は安定しており、製品需要は堅調に推移。(業務用機械)
- 国内、海外向けの当社製品の受注が増加していることから、生産量は若干増加している。(電気機械)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある中、有効求人倍率は上昇し、新規求人数は増加しており、雇用情勢は持ち直している。

- 特に開発系部門で人手が不足しており、購買部門、生産管理部門でも人手が足りていない。(製造)
- 近年、大卒の営業職が採用できていない。売上げ目標等を背負いたくない若者が増えてきており、営業職は人気がないようである。(小売)
- 採用担当の社員を増やすほか、奨学金支援制度を導入するなど採用に力を入れている。また、福利厚生面をより充実させることを検討している。(建設)

■ 設備投資 「7 年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 1-3 月期

- 7 年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比 28.0%の増加見込み、非製造業では同▲1.4%の減少見込みとなっており、全産業では同 12.9%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7 年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8 年 1-3 月期

- 7 年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比▲20.8%の減益見込み、非製造業では同 10.5%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 1-3 月期

- 景況判断 BSI をみると、全規模・全産業ベースで「下降」超幅が縮小している。先行きについては、全規模・全産業ベースでみると、8 年 4-6 月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

最近の山梨県の経済情勢

資料編

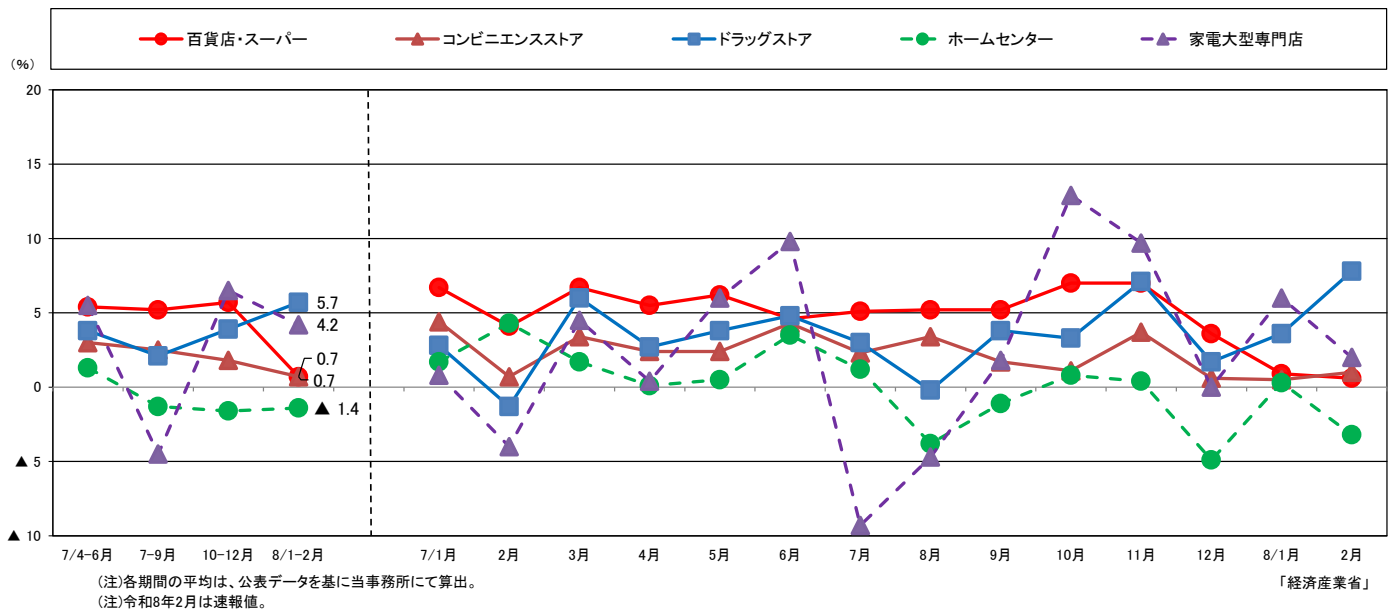
令和8年4月22日

財務省関東財務局

甲府財務事務所

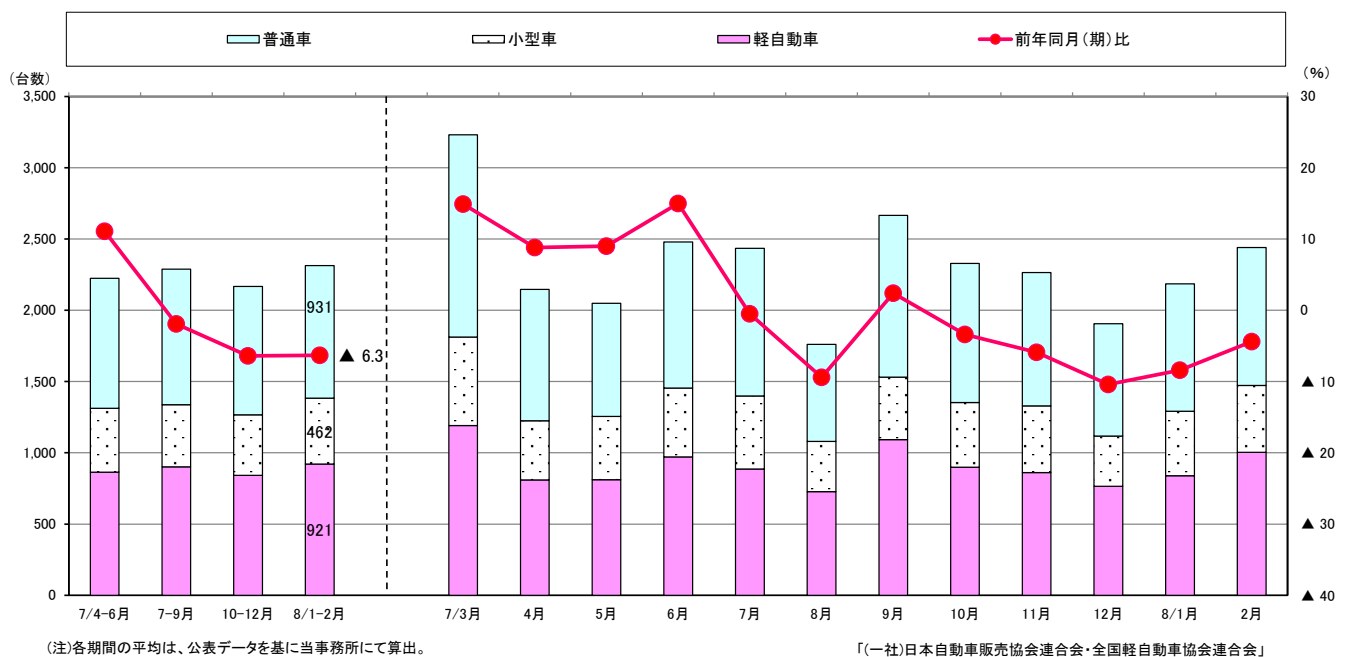
1. 個人消費 〔グラフ1〕

業態別販売額(県内・前年同月(期)比)



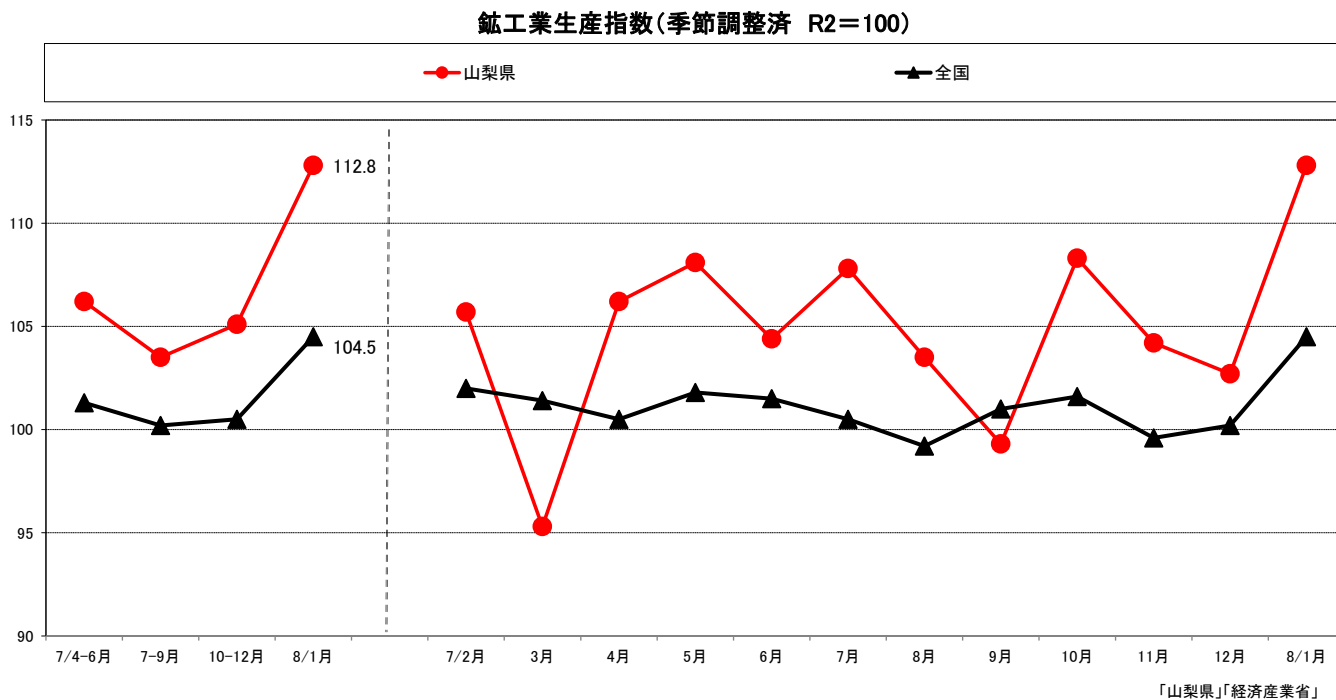
〔グラフ2〕

乗用車新車登録届出台数(県内)

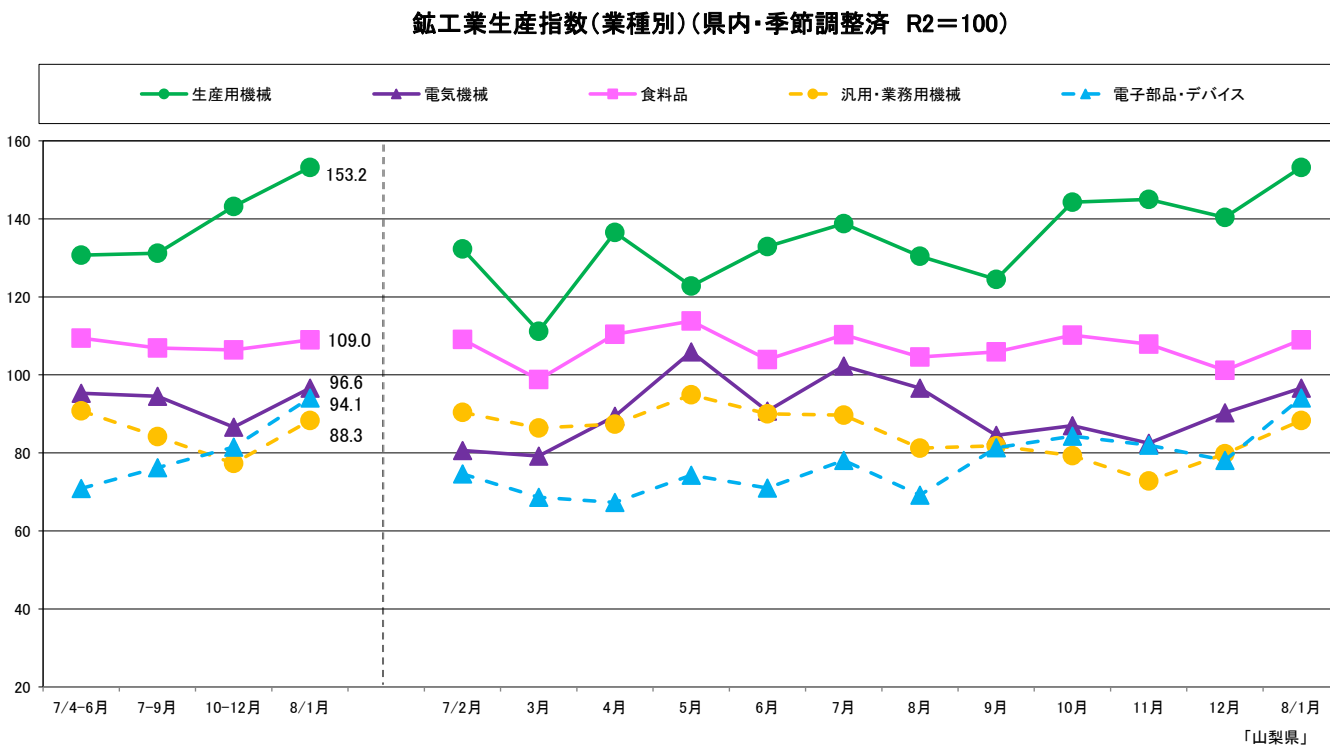


2. 生産活動

[グラフ3]

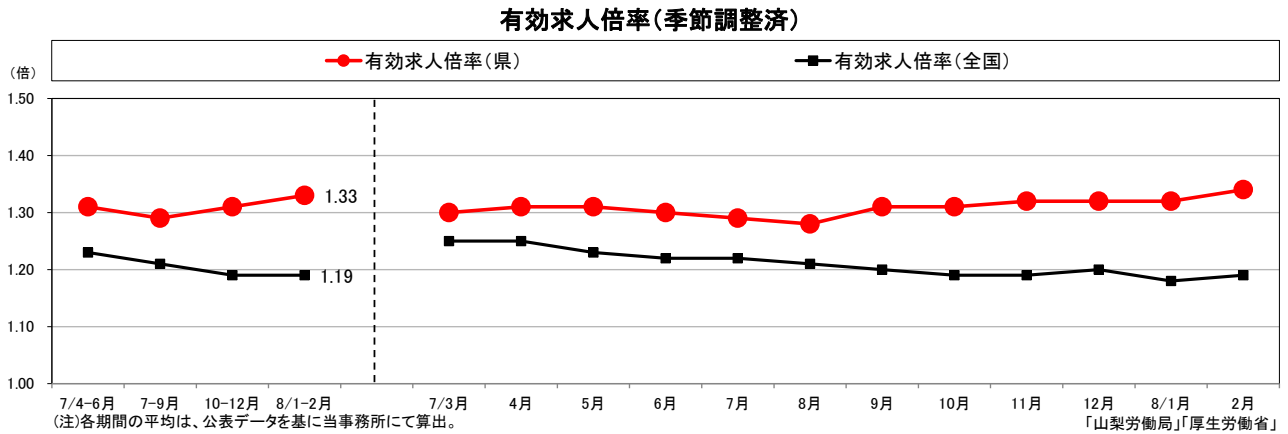


[グラフ4]

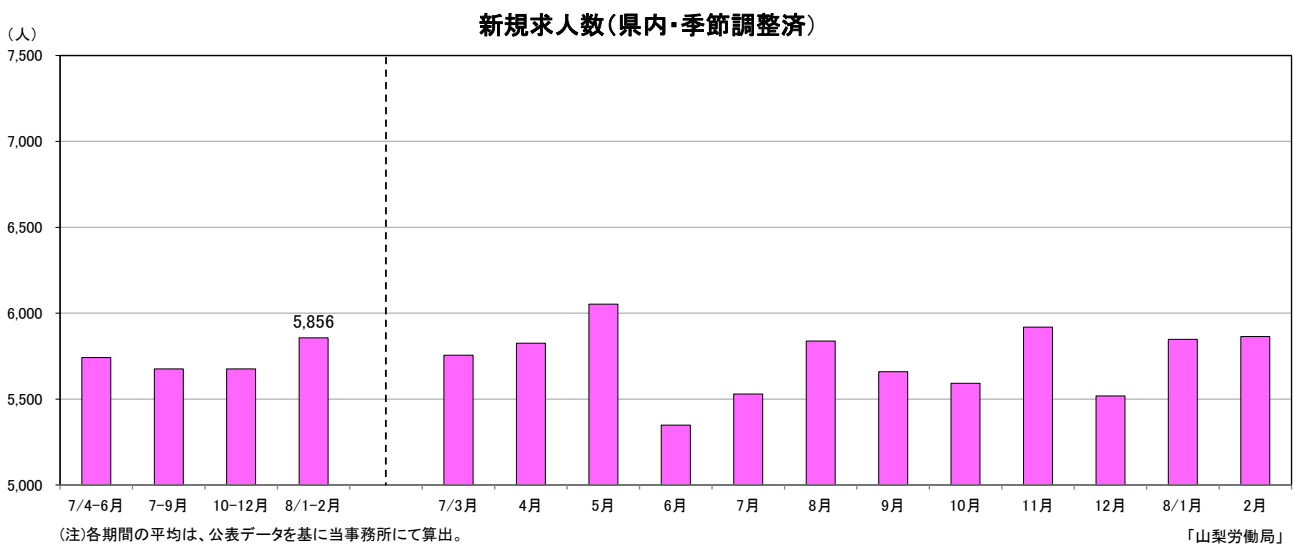


3. 雇用情勢

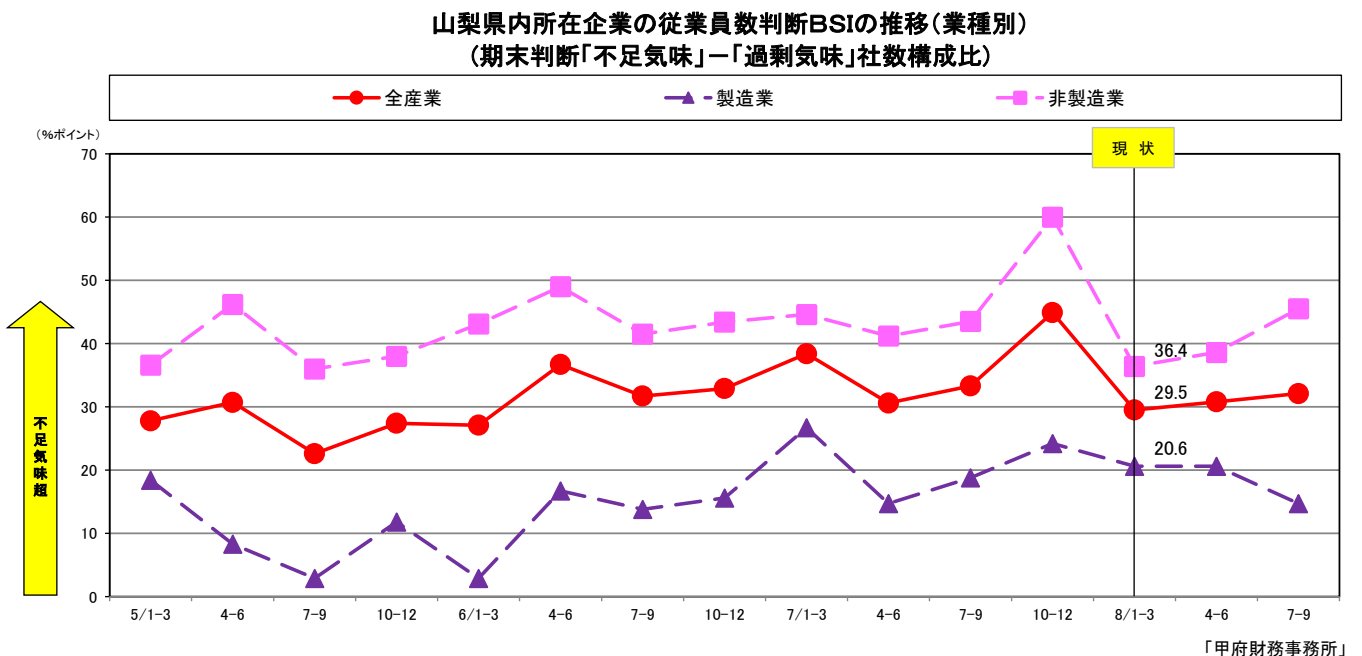
〔グラフ5〕



〔グラフ6〕

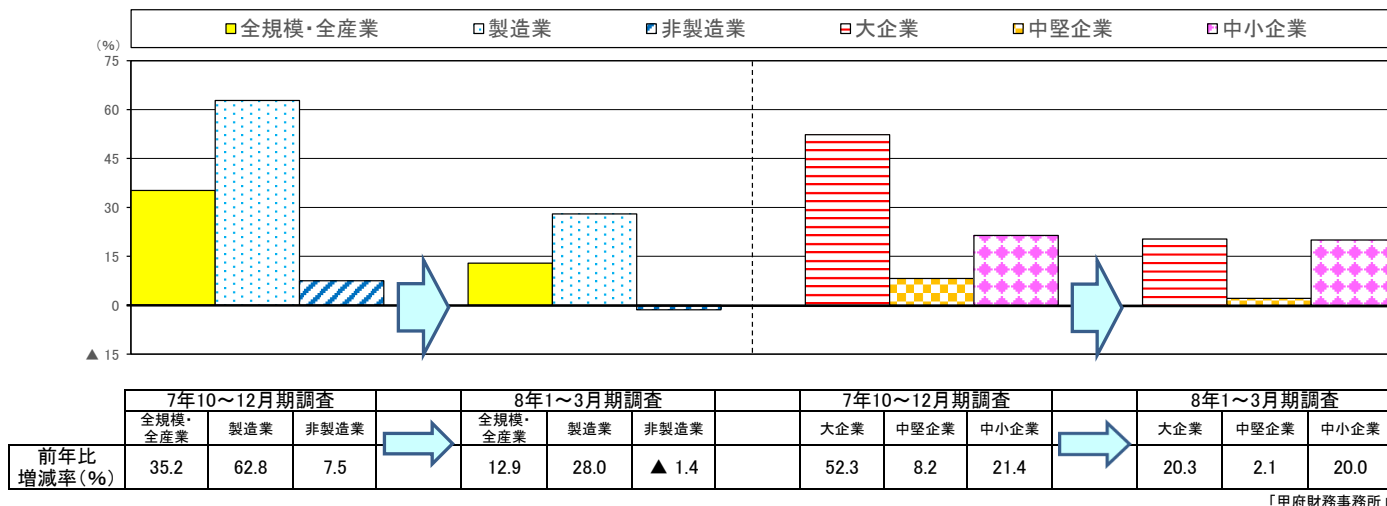


〔グラフ7〕



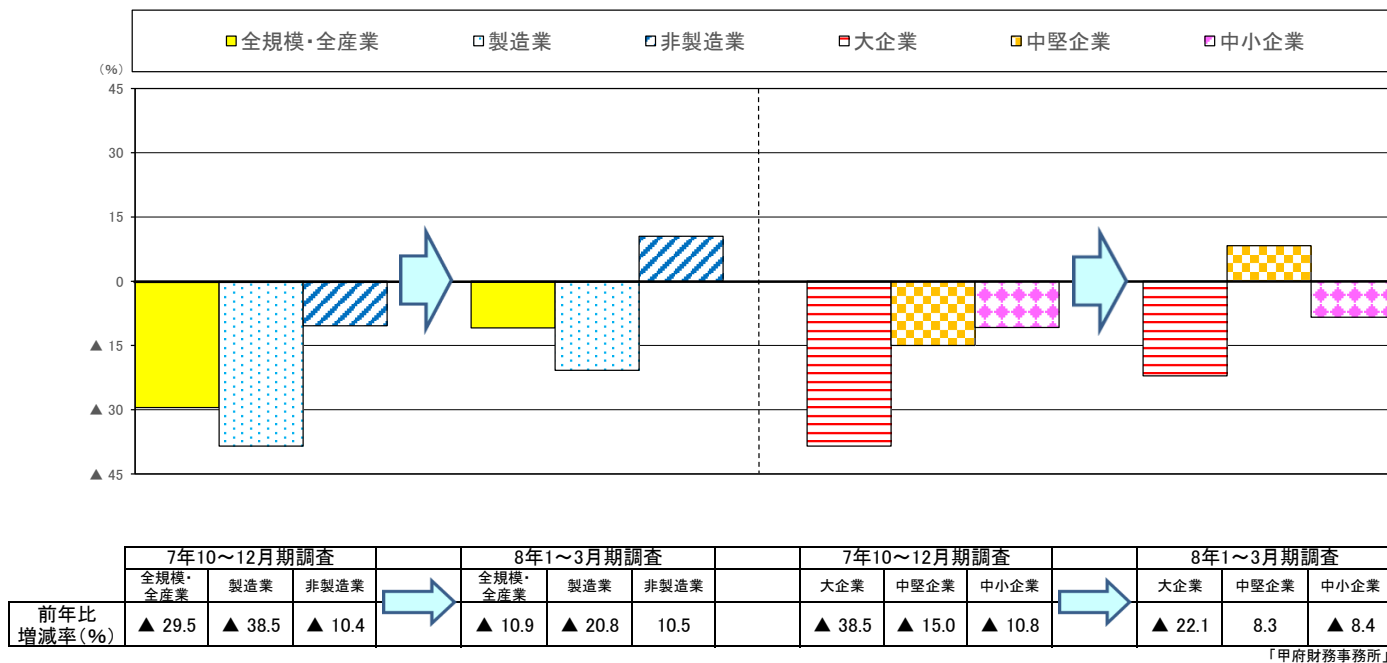
4. 設備投資 〔グラフ8〕

山梨県内所在企業の設備投資計画(除く土地購入額 含むソフトウェア投資額、前年比増減率:%)



5. 企業収益 〔グラフ9〕

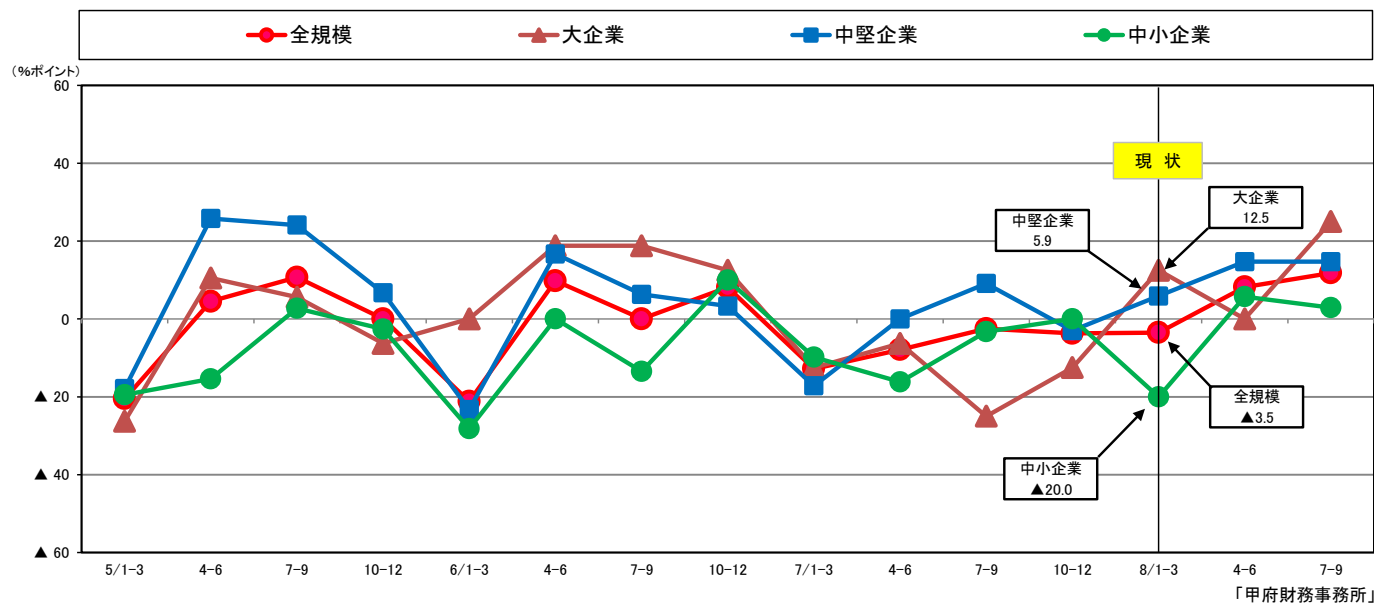
山梨県内所在企業の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」、前年比増減率:%)



6. 企業の景況感

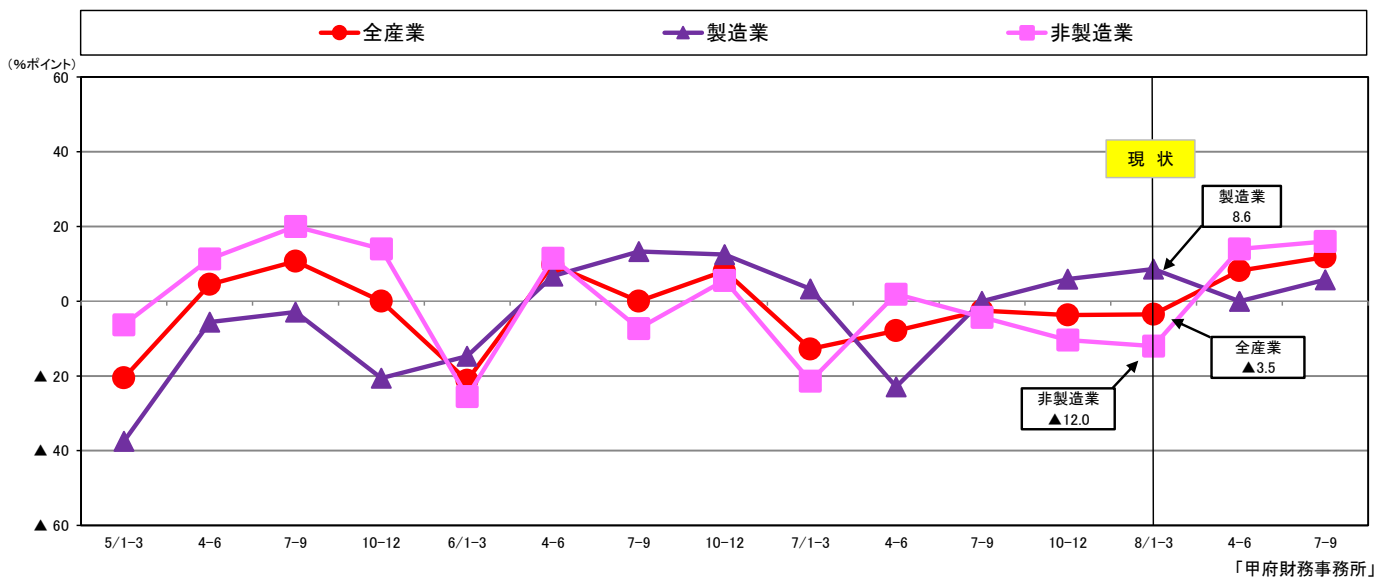
〔グラフ10〕

山梨県内所在企業の景況判断BSIの推移(規模別)
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)



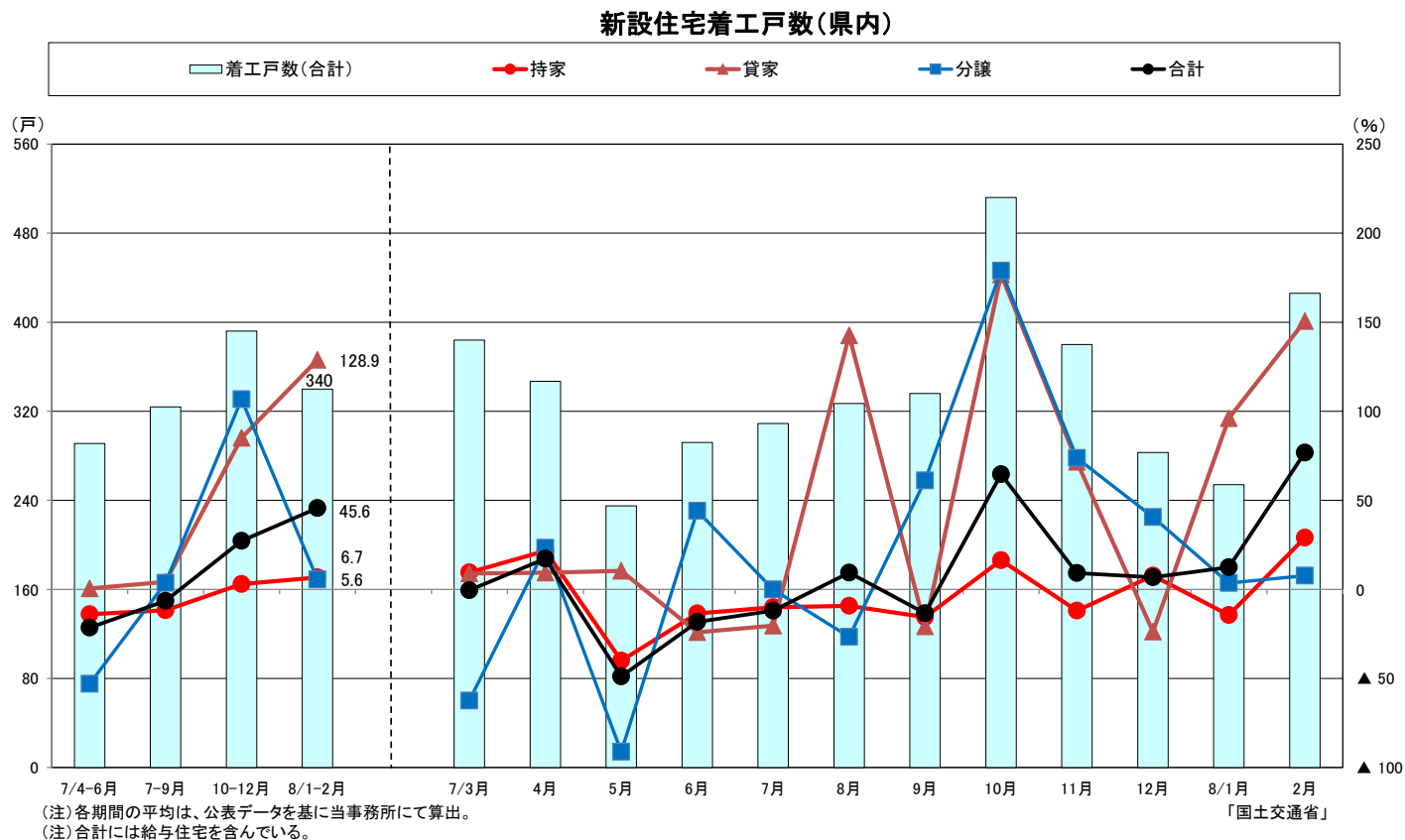
〔グラフ11〕

山梨県内所在企業の景況判断BSIの推移(業種別)
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)



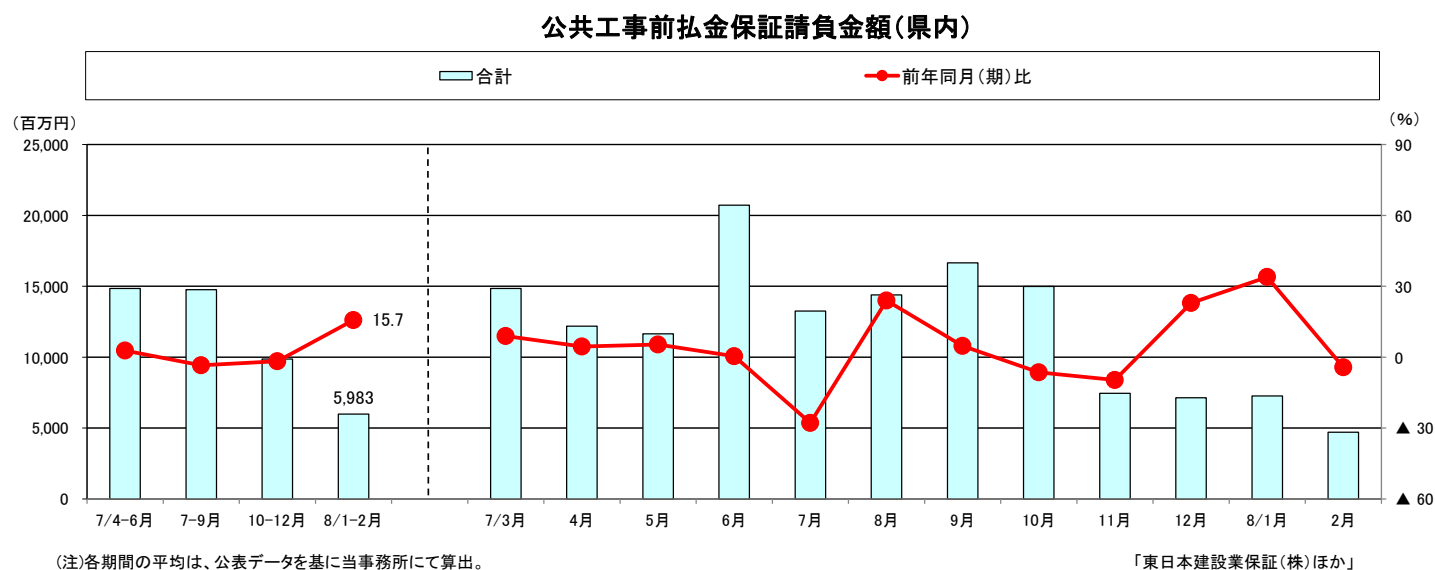
7. 住宅建設

〔グラフ12〕



8. 公共事業

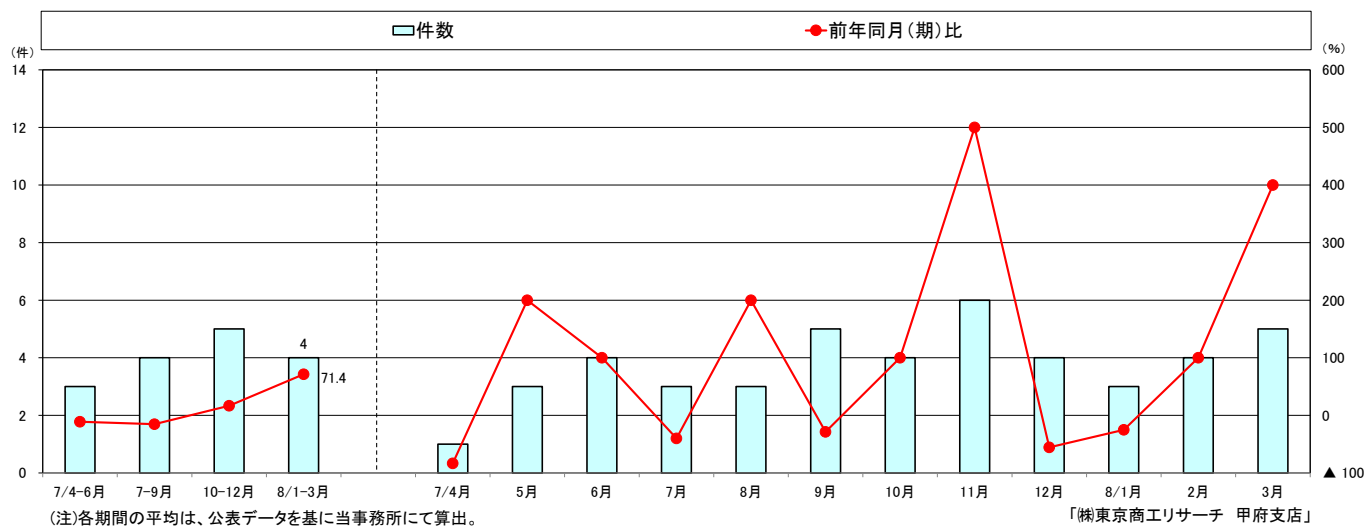
〔グラフ13〕



9. 企業倒産

〔グラフ14〕

倒産件数(県内)



〔グラフ15〕

負債総額(県内)

